

事務事業名		学校給食・スクールバス運行业務事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	06 豊かな心をはぐくむ人づくりの推進				事業期間		予算科目				
	施策名	27 学校教育の充実						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 学校施設・設備の整備・充実				☐ 単年度のみ		01	10	01	02	07
所属	根拠法令	学校給食法				☒ 単年度繰返 (開始 昭和45 年度～)						
	部課名	教育委員会事務局 学校教育課				☐ 期間限定複数年度						
	課長名	千田 晃一				【計画期間】						
	係名	学務係				年度 ～ 年度						
	担当者	江刺 雄輝	電話	0192-27-3111		※全体計画欄の総投入量を記入						
			内線	287								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												
三陸地区小学校(3校)・中学校(3校)の児童生徒等に提供する学校給食の調理・運搬と、三陸地区において遠距離通学する児童、生徒、園児等を送迎するスクールバスの運行を行う。												
綾里及び越喜来学校給食共同調理場における小中学校(年180食/人)の給食調理業務を行うとともに、吉浜地区へ給食をコンテナ車で運搬する。また、越喜来幼稚園・保育所の給食を吉浜こども園から運搬する。												
スクールバス運行は5台で行い、小学生、園児等の安全確保のため、添乗員(綾里こども園)及びスクールガード)を同乗させる。												
主な業務は、①業務委託契約の締結②受託者からの請求に基づく委託料の支払い												
なお、学校給食事業実施体制の改革により、当該事業は平成25年度で廃止し、平成26年度から「学校給食事業(小中学校)」と「スクールバス運行业務」に統合する。												
全体計画(※期間限定複数年度のみ)												
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金									
			都道府県支出金									
			地方債									
			その他									
			一般財源									
		事業費計(A)	0									
	人件費	正規職員従事人数										
延べ業務時間												
人件費計(B)		0										
			トータルコスト(A)+(B)	0								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標			
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
	名称	単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)	ア	給食の提供回数	回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ	スクールバスの運行日数(延べ日数)	日
	ウ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		
	名称	単位	
三陸地区の小中学校、こども園、幼稚園の児童生徒園児等	カ	三陸地区の児童生徒数	人
給食調理運搬 小中学校、越喜来幼稚園・保育所(運搬のみ)	キ	スクールバス利用児童生徒園児数(延べ)	人
スクールバス運行 小中学校、こども園	ク		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
	名称	単位	
・安全で健康によいおいしい給食が食べられる。	サ	給食食材に関するクレーム件数	件
・遠距離通学の児童生徒の利便が図られる。	シ	スクールバス運行時間に関するクレーム件数	件
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	ス		
安全・快適な学習環境がある。			

(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度 単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円							
		地方債	千 円							
		その他	千 円			29,180				
		一般財源	千 円	66,620	67,050	26,152				
		事業費計 (A)	千 円	66,620	67,050	55,332	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1				
		延べ業務時間	時 間	1,200	200	200				
		人件費計 (B)	千 円	4,800	4,800	4,800				
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	71,420	71,850	60,132	0	0	0	
⑤活動指標	ア	回	110,124	102,433	102,433					
	イ	日	1,160	1,205	1,205					
	ウ									
⑥対象指標	カ	人	503	472	472					
	キ	人	77,402	77,126	77,126					
	ク									
⑦成果指標	サ	件	0	0	0	0	0	0		
	シ	件	2	0	0	0	0	0		
	ス									

事務事業ID	0918	事務事業名	学校給食・スクールバス運行業務事業
--------	------	-------	-------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
三陸町において昭和35年度からスクールバスを運行し、昭和45年からは共同調理場を整備して学校に給食を提供してきたが、昭和52年に三陸教育施設運営会を設立し、これら業務を委託した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
・少子化の進行に伴い、児童生徒数は減少している。
・2箇所の共同調理場のうち越喜来共同調理場は著しい老朽化が進行している。平成26年度に市立北部学校給食センターから配送する予定で、以後、越喜来調理場は廃止する考えである。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
地域から同様の形での継続を求められていた。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 学校給食の供給や遠距離通学児童生徒の交通手段を確保する事業であり、政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 学校給食法により義務教育諸学校の設置者には学校給食実施の努力義務が課せられている。遠距離で交通機関のない三陸地区の児童生徒等にとってスクールバスは不可欠のものである。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 安全で健康によいおいしい給食の提供と遠距離通学者への対応であり、ともに適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ バランスが取れ、かつ子どもたちがおいしく食べられる献立について、常に給食担当者会議で検討を進めており、成果の向上は期待できる。スクールバスの運行時刻については、最も利便が図られる時間帯としているが、他への影響のない範囲内で変更は可能である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 学校給食を提供できなくなる。通学困難な児童生徒等が出てくる。本形態での事業継続ができない場合は、別な形での事業化が必須となる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段, 事務事業) 共同調理場の統合化によるコスト削減及び公共交通機関の活用 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ☐ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) スクールバスは路線によっては他の交通手段で輸送可能な場合もある。越喜来共同調理場は市立北部学校給食センターからの配送開始に合わせて廃止する。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 1名の担当職員が事務処理していることから、人件費の削減は困難である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 一部スクールバスは、震災後の通学路の状況から、安全確保のため遠距離通学に該当しない子供も対象としている。

事務事業ID	0918	事務事業名	学校給食・スクールバス運行業務事業
--------	------	-------	-------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	共同調理場の統廃合については、学校給食の拠点化に合わせて実施する。またスクールバスは、総合交通体系の検討の中で、他の交通機関等と合わせて総合的に検討する必要がある。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☒ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 本給食、スクールバス事業は、市全体の事業として統合し、実施、評価していく。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☒ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☒ 事業統合・連携	☐ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																						
これまで委託していた事業者の解散により、現形態の給食事業とスクールバス事業の両方を一括して受託できる事業者は他にないことから、これらは分離して事業化を行う必要がある。 また、共同調理場の統合化が計画されており、複数年の調理業務委託は難しいことも考えられるので、直営での給食事業も視野に入れるなど、多面的な検討が必要となる。																						

(職 名) ※原則として施策の主管課長		(氏 名)
2次評価者	学校教育課長	千田 晃一

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																						
☐ 記述不足でわかりにくい																						
☐ 一部記述不足のところがある																						
☒ 記述は十分なされている																						
②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																						
☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)																						
☐ 一部に客観性を欠いたところがある																						
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	共同調理場については、学校給食の拠点化との関わりで考える必要がある。スクールバスの運行業務の見直しについては、田の交通機関やコミュニティバスとの関わりで考える必要がある。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 財団法人三陸教育施設運営会の職員が業務を行っているが、学校給食調理業務について、今後検討していく必要がある。また配送業務と、スクールバスの運行業務については、同一職員が携わっていることから、民間委託を視野に入れ検討をしていく。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項